

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2017-535310(P2017-535310A)

【公表日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-046

【出願番号】特願2017-516157(P2017-516157)

【国際特許分類】

A 6 3 G 21/04 (2006.01)

B 6 0 N 2/42 (2006.01)

【F I】

A 6 3 G 21/04

B 6 0 N 2/42

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月29日(2018.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのセンサ装置 (3 0) を有し、アミューズメント乗り物 (1 0) のホルダ (4 0) に保持された乗客 (2 0) を規制する装置 (1) において、

前記センサ装置 (3 0) は、前記乗客 (2 0) の座席内の正しい座席位置を識別し監視する手段 (3 4) を有することを特徴とする装置 (1) 。

【請求項 2】

前記センサ装置 (3 0) の前記手段 (3 4) は、前記乗客 (2 0) の体 (2 2) 及び / 又は体の領域 (2 6) 及び / 又は体の位置 (2 4) を検知することを特徴とする請求項 1 に記載の装置 (1) 。

【請求項 3】

前記センサ装置 (3 0) の前記手段 (3 4) は、前記乗客 (2 0) の体 (2 2) 及び / 又は体の領域 (2 6) を予め与えられた基準となる体の位置 (2 4) と比較することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の装置 (1) 。

【請求項 4】

前記センサ装置 (3 0) は、スキャナ (3 6) を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか一項に記載の装置 (1) 。

【請求項 5】

前記センサ装置 (3 0) は、温度センサ (3 4 a) 及び / 又は表面測定センサ (3 4 b) 及び / 又は圧力センサ (3 4 c) 及び / 又は取り除き可能又は圧縮可能な媒体を検出するセンサ (3 4 d) 及び / 又は静電容量センサ (3 4 e) 及び / 又は超音波センサ (3 4 f) 及び / 又は赤外線センサ (3 4 g) を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れか一項に記載の装置 (1) 。

【請求項 6】

前記センサ装置 (3 0) の前記手段 (3 4) は、前記乗客 (2 0) の体 (2 2) に隣接して移動可能ホルダ (4 6) が置かれていることを識別し監視することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 の何れか一項に記載の装置 (1) 。

【請求項 7】

前記センサ装置（３０）の前記手段（３４）は、固定ホルダ（４２）に対する前記乗客（２０）の体の位置（２４）を識別し監視することを特徴とする請求項１乃至請求項６の何れか一項に記載の装置（１）。

【請求項８】

前記装置（１）は、前記アミューズメント乗り物（１０）のスタート解放を発するように構成されていることを特徴とする請求項１乃至請求項７の何れか一項に記載の装置（１）。

【請求項９】

前記ホルダ（４０）は、固定ホルダ（４２）と移動可能ホルダ（４６）を有していることを特徴とする請求項１乃至請求項８の何れか一項に記載の装置（１）。

【請求項１０】

前記センサ装置（３０）の前記手段（３４）は、前記固定ホルダ（４２）及び／又は前記移動可能ホルダ（４４）に設けられていることを特徴とする請求項９に記載の装置（１）。

【請求項１１】

前記装置（１）は、複数のセンサ装置（３０）を有し、前記ホルダ（４０）内の前記複数のセンサ装置（３０）は、移動可能ホルダ（４６）内又は、移動可能ホルダ（４６）とシートシェル（４２）及び／又はバックシェル（４４）内に設けられていることを特徴とする請求項１乃至請求項１０の何れか一項に記載の装置（１）。

【請求項１２】

前記センサ装置（３０）は、部分的に又は完全に前記アミューズメント乗り物（１０）のホルダ（４０）の外側に設けられていることを特徴とする請求項１乃至請求項１１の何れか一項に記載の装置（１）。

【請求項１３】

調整装置（５０）を有し、請求項１乃至請求項１２の何れか一項に記載のセンサ装置（３０）によって前記アミューズメント乗り物（１０）のホルダ（２０）に保持された乗客（２０）を規制する方法であって、

少なくとも１つのセンサ装置（３０）を使用することにより測定ユニット（５２）が乗客（２０）の大きさを検知し、前記調整装置（５０）へ送信し、前記調整装置（５０）は、前記アミューズメント乗り物（１０）のスタートの前に前記ホルダ（４０）を前記乗客（２０）の前記大きさに調整することを特徴とする方法。

【請求項１４】

前記乗客（２０）の前記大きさは前記アミューズメント乗り物（１０）のスタート領域を前記アミューズメント乗り物（１０）が通過する際に検知されることを特徴とする請求項１３に記載の方法。

【請求項１５】

前記ホルダ（４０）を前記乗客（２０）の前記大きさに調整した後に前記アミューズメント乗り物（１０）のスタートがなされることを特徴とする請求項１３に記載の方法。

【請求項１６】

前記装置（１）は、調整装置（５０）を有し、前記調整装置（５０）は、サーボモータ（５４）を有することを特徴とする請求項１乃至請求項１２の何れか一項に記載の装置（１）。